

2019年5月28日第1回通常理事会承認議決

平成30年度  
(第7事業年度)

# 事業報告

平成30年4月1日から  
平成31年3月31日まで

公益財団法人ソルフェージュスクール

## 「平成 30 年度事業報告書」目次

要 旨	1
《事業活動》	
ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業 1）	
1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営	
（1）ソルフェージュに関する指導等および各種楽器、声楽等の実技指導	2
【週 1 回のレッスン及び年数回の特別レッスン】	2
【月 2 回の合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】	2
【月 1 回のコーラス“レ・グルヌイユ”のレッスン】	3
【月 1 回の子どものコーラス“レ・テタール”のレッスン】	3
【月 1 回の 0 歳児から 5 歳児対象の音遊び“ウフ”のレッスン】	3
【月 1 回の小学低学年対象のソルフェージュと英語のコラボ “ソルフェージュ&ABC”のレッスン】	3
【月 2 回のリコーダーアンサンブルのレッスン】	3
【春のミュージックキャンプ】	3, 4
【夏季合宿】	4, 5
【楽しくアンサンブル】	5
【成人対象の講習会】	5
（2）ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及	
① 通常プロジェクト	6
【ソルフェージュスクール演奏会】	6
【前期おさらい会】【後期おさらい会】	6
【研究会】	6
【試演会】	7
【講師によるコンサート】	7, 8
【海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流】	8
② 地域プロジェクト	8
（3）ソーシャルメディアの活用、資料収集、出版物刊行等「広報」の充実	9, 10
2. 音楽ホール、練習室の貸与	10
3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催	10
《管理部門》	
1. 法人としての諸会議	11, 12
2. 公益財団法人の情報公開	12
3. 業務執行体制の強化	12
4. 附属明細書について	12

## 要 旨

昨年度に続き、幼児から大人まで幅広い年齢層への音楽指導を通して、豊かな心を持つ人材の育成に努めるという当財団の公益目的を達成するため、既存の各事業内容の見直し、スリム化を図ると共に、音楽教育の原点ともいふべき幼児から子どもを中心としたカリキュラムを充実させた。

創立 55 周年の特別イベントとして無料で開講した 0 歳児から未就学児対象の音遊びクラス“ウフ（たまご）”が好評であり、ソルフェージュスクールへの入室にも繋がったため、昨年 1 月から、有料（1 回 500 円）の 0 歳児から 5 歳児までのクラスとして正式開講し、生徒数拡大に繋がった。

また、音楽と英語は親和性もあり、小学校教育に英語が追加されたことも鑑みて、小学 1 年生から 4 年生対象のトライアルとして、ソルフェージュと英語を融合させたクラス「ソルフェージュ&ABC」を月 1 回開講した。

更に、ホームページを充実させ、facebook と合わせて活用することにより、素早く的確な情報発信に取り組んだ。

厳しい財政状況の中、篤志家から多額の寄付をいただいたこと、併せて経費削減に努めたことにより、事業内容を削ることなく決算の経常増減額を昨年度のマイナスからプラスへ変換させることができた。

## 《事業活動》

### ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業 1）

#### 1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営

当財団の運営するソルフェージュスクールにおいて下記の事業を行った。

##### （1）ソルフェージュに関する指導等及び各種楽器、声楽等の実技指導

ソルフェージュの研究の促進及び指導者育成を目的として研究者、指導者及びこれから研究、指導を目指す者、また関心のある一般を対象とした研究発表会、講習会、音楽会等を開催した。いずれも一般に公開した。これら事業内容の具体的な実施の詳細については、毎月の運営委員会で決定した。

当法人が開発したソルフェージュジェットやリズムカード及び以前フランスで使われていた教本を翻訳・復元した教材等を用い、ソルフェージュスクールカリキュラムに沿って、具体的にリズム・拍・音程を習得させ、読譜力・視唱力・聴音力を身に付けさせた。それに器楽、声楽等の実技指導及び年数回の特別講習会を加え、音楽文化の理解を深めさせつつ実技を習得させた。

【週 1 回のレッスン及び年 1 回の特別レッスン】 一般対象 受講生延べ 728 名/年

1 学期	4 月 7 日（土）～7 月 21 日（土）
2 学期	9 月 6 日（木）～12 月 21 日（金）
3 学期	1 月 10 日（木）～3 月 23 日（土）
特別レッスン	8 月 25 日（土）及び 8 月 26 日（日）

\* レッスン及び特別レッスンの曜日、時間は月曜日を除く週 6 日の中から生徒と講師が相談して決めた。原則として、週 1 回のレッスンとし、年間合計で 40 回プラス特別レッスン 1 回を行った。

\* 受講費は別途入室案内に公開した。

【月 2 回の合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】 一般対象 受講生延べ 132 名/年

\* 成人受講生対象で月 2 回の日曜日、弦楽合奏のレッスンと小グループによる室内楽のレッスンを行った。

\* 原則として月 2 回とし、年間合計で 22 回を行った。

\* 受講費は別途入室案内に公開した。

【月 1 回のコーラス “レ・グルヌイユ” のレッスン】 一般対象 受講生延べ 238 名/年

\*成人受講生対象で月 1 回土曜日に行った。

\*受講費は別途入室案内に公開した。

【月 1 回の子どものコーラス “レ・テタール” のレッスン】

一般対象 受講生延べ 54 名/年

\*小学生から高校生対象で月 1 回土曜日または日曜日に行った。

\*受講費は別途入室案内に公開した。

【月 1 回の 0 歳児から 5 歳児対象の音遊び “ウフ” のレッスン】

一般対象 受講生延べ 167 名/年

\*0 歳児から 5 歳児とその保護者を対象で月 1 回日曜日に行った。

\*受講費は別途入室案内に公開した。

【月 1 回の小学校 1 ～ 4 年生対象のソルフェージュと英語のコラボ  
“ソルフェージュ&ABC” のレッスン】

一般対象 受講生延べ 23 名/年

\*小学校 1～4 年生を対象で月 1 回土曜日または日曜日にトライアルとして行った。

\*受講費は別途入室案内に公開した。

【月 2 回のリコーダーアンサンブルのレッスン】 一般対象 受講生延べ 29 名/年

\*成人受講生対象で月 2 回火曜日に行った。

\*受講費は別途入室案内に公開した。

【春のミュージックキャンプ】 一般対象 受講生 13 名

3 月 31 日（土）、4 月 1 日（日）2 日間 当法人ホール及び教室

普段の個人レッスンではなかなか取り組めないアンサンブルの経験を積むための 2 日間の講座。受講生の組合せを工夫し、様々なグループで用意された曲を勉強した。2 日目の最後に発表会コンサートを開催した。

練習曲目 組分表

グループ	楽器	曲 目	作曲家
A	Vo Vo Vo Vo Vo Pf	島へ、めぐり逢い等 カンタータ	武満 徹 バッハ
B B'	Pf, Vn Pf	ソナタ4番 C Dur 1楽章 3つのロマンティックなワルツ No.2	モーツァルト シャブリエ
C	Rec. Cem., Rec.		
D	Fl Vn Va Vc	フルートカルテット	モーツァルト
E	Pf Rec. Vn Rec. Vn	「花火」より	ヘンデル
F	Pf Vn Vn	シンフォニア メヌエット	シュッツ フィッシャー

【夏季合宿】 一般対象

受講生 9 名

8 月 2 日（木）～5 日（日）3 泊 4 日で開催

清里 ペンションフェルマータ

中学生以上を対象として毎年行う合宿。

これまでになかった管楽器・フルートのアンサンブルを学ぶ内容で、スイスから一時帰国したフルーティストの笠井潔氏の熱い指導により充実した合宿であった。

最終日に合宿の成果を参加者全員で発表するコンサートを開き、一般に公開演奏した。

■カリキュラム

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
8/2 (木)				14 時:現地集合・15 時:チェックイン			16 時:開講			レッスン		夕食	自由練習			
8/3 (金)		朝食	レッスン		昼食	レッスン				夕食	自由練習					
8/4 (土)		朝食	レッスン		昼食	レッスン				夕食	自由練習					
8/5 (日)		朝食	9 時:チェックアウト コンサート準備・		コンサート	昼食	14 時 30 分過ぎ:現地解散									

## ■講師

ゲスト講師：笠井 潔 (元バーゼル交響楽団ソロフルーティスト、元バーゼル音楽大学フルート科教授)  
フルート及びアンサンブルの指導

当校講師：込山今日子 (ピアノ)、妹尾美紀子 (ヴァイオリン、ヴィオラ)、吉村隆子 (チェロ)

## ■内容 ♪レッスン

フルートの基本奏法及び 5 組の組合せによるフルートと弦楽によるアンサンブル 2 曲、  
フルートとピアノによるアンサンブル 2 曲とフルート、ピアノと弦楽器によるアンサンブル 1 曲

♪コンサート 8月5日(日)11時半開演 会場・ダイニングカフェ・パウゼ

受講生によるミニコンサートを4日目の午前中に開催し、一般の方にも公開した。

### 《ミニコンサートプログラム》

ペーター・ルーカス・グラーフ：The Singing Flute から 5 曲	Fl 5 名
モーツァルト：アンダンテ ハ長調 KV315	Fl 1 名+Pf 1 名
ハイドン：ロンドン三重奏曲 ハ長調 Hob.4-1 1,2,3 楽章	Fl 1 名+Vn 1 名+Vc 1 名
モーツァルト：フルート協奏曲 二長調 KV314 1,2 楽章	Fl 1 名+Pf 1 名
ウェーバー：三重奏曲 ト短調 Op.63 1,3 楽章	Fl 1 名+Vc 1 名+Pf 1 名
モーツァルト：フルート四重奏曲 二長調 KV285 1,2,3 楽章	Fl 1 名+Vn 1 名+Va 1 名+Vc 1 名

## 【楽しくアンサンブル】 一般対象

夏季	7月16日(月・祝)	当法人ホール及び教室	受講生 5 名
冬季	12月23日(日・祝)	同上	受講生 10 名

小3以上を対象とし、初見で演奏する力を養うためのアンサンブルによる1日の講座で7月と12月の2回開催する。個々の参加者の実力に合わせて無理なく楽しく、初見と共にアンサンブルの体験を積むように指導。複数回受講経験者の初見及び音楽的な演奏の進歩には顕著なものがあつた。

## 【成人対象の講習会】 一般対象

「大人のための基礎音楽講座」は、秋に5回コース(11月8日、15日、22日、29日、12月6日いずれも木曜日)を、当法人ホール及び教室にて開催した。受講生は1名であつたが、音楽を楽しまれ、講習会後の楽しくアンサンブルへの参加に繋がつた。

(2) ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及

① 通常プロジェクト

【ソルフェージュスクール演奏会 7月1日(日) 日本橋公会堂】

ソルフェージュスクールの受講生全員が、リトミック、室内楽、器楽合奏、弦楽合奏、合唱等のいずれかに出演する、外部のホールで催す年1回の定期演奏会。来場者がスクールの教育を大観し、ソルフェージュの教育を理解する重要な機会として位置づけている。

年1回、通常は異なる日に受講しているソルフェージュスクールの受講生が一堂に集まり、数回の合同練習を通して普段学習しているソルフェージュスクールでの成果がいかにか活かされるかを体感し、また聴衆前で発表するというプロセスを学ぶ。幼児のソルフェージュ及びリトミッククラスのデモンストレーションもあり、これらを一般公開してソルフェージュスクールの教育のあり方を提示した。

《プログラム》

ピアノ連弾 A	L.バップ/ポーランドの古いおどり J.ヌイテン/雨ふり
ピアノ連弾 B	ディアベリ/ソナチネ Op.24-1
室内楽 A	ベリーー/ロング ロング アゴー ドイツ民謡/かすみか雲か
室内楽 B	ベートーヴェン/カルテット Op.18-1 より 1 楽章
リトミック&うた	リトミック キラキラ星
器楽合奏	モーツアルト/ドイツ舞曲 K.V.605-3 そりすべり
弦楽合奏	ヘンデル/コンチェルト グロツソ Op.6-2
合唱	詞・曲 武満徹/小さな空 バッハ/主よ人の望みの喜びよ

【前期おさらい会 10月28日(日) 当法人ホール】 出演生徒 12 名

【後期おさらい会 2019年3月21日(木・祝) 当法人ホール】 出演生徒 16名

10月と3月の前後期に分けて開く発表会で、器楽、声楽を学ぶソルフェージュスクールの受講生の演奏を一般公開し、本校での教育の特徴を見てもらった。

器楽、声楽を学んでいる受講生(主に個人レッスン)は少なくとも年1回は人前で演奏披露することで、普段とは違う学習と練習を体験する大切な場であり、また生徒同士、父兄、教師にとっては個人レッスンの進捗状況を知る良い機会であった。

【研究会 9月28日(金)、2019年2月13日(水) 当法人ホール及び教室】

ソルフェージュ、器楽の教授方法、教本の使い方や生徒への対応の仕方など、時々テーマを設けて講師一同が意見の交換をしてレッスンの質の向上を目指すための研究会であり、年2回開き一般に公開した。

9月28日：「怒らずに子どもの力を引き出す声かけて何だろう？」

2019年2月13日：「行事をより良くするために」



### 【試演会 2019 年】

講師有志等の独奏或いはアンサンブルによる演奏を聴き合い、日頃教える立場にある者がお互いに具体例をもって意見を述べ合うことで良い研修の機会とする。講師が自発的に企画し実施し、原則として非公開で行うが、今年度は講師の日程が合わず取りやめとした。

### 【講師によるコンサート】

4 月と 12 月に開く講師及びゲスト演奏家を交えての演奏会。「音楽はソロだけではなく合奏の楽しさを味わい、音楽の喜びを得る」というソルフェージュスクールの目標の一つを講師自らの演奏によって、より多くの方へ伝えるためのコンサートとして開催した。

< 春のコンサート 4 月 29 日（日・祝）当法人ホール（有料） >

#### 《プログラム》

テレマン / ターフェルムジーク第2集の四重奏曲より 第1、4楽章
モーツァルト / 5つのディヴェルティメント第2番より
1.アレグロ 3.ラルゲット 4.メヌエット 5.ロンド：アレグロ
ボンサー / ヴァレリー、フィエスタ
ショスタコーヴィッチ（レフ・アトフミヤン編曲） / 5つの小品
1.プレリュード 2.ガヴォット 3.エレジー 4.ワルツ 5.ポルカ
マスネ / 瞑想曲
エルガー / 愛の挨拶
ベートーヴェン / ピアノ三重奏曲変ロ長調 Op.11 「街の歌」
1.アレグロ コン プリオ 2.アダージョ 3.主題と変奏

テレマン、モーツァルトとボンサーの3曲は4種類のリコーダーによるアンサンブル、ショスタコーヴィッチの曲は2台のヴァイオリンとピアノ、エルガーの曲はヴァイオリンのソロ演奏、ベートーヴェンの曲はクラリネットとヴィオラとピアノの三重奏であった。

<クリスマスコンサート 12月16日(日) 当法人ホール (有料) >

《プログラム》

Ch.V.スタンフォード：三つの間奏曲  
No.1 Andante espressivo No.2 Allegro agitato  
No.3 Allegretto scherzand  
ドゥメルスマン：歌劇「オベロン」の主題による  
グランドファンタジー op.5 2  
ビゼー：「アルルの女」第2組曲 メヌエット  
フォーレ：組曲「ドリー」 op.5 6より  
1 子守歌 2 ミ・ア・ウ 3 ドリーの庭 6 スペインの踊り  
ジェイ・リビングストン：ケ・セラセラ  
作者不詳：冬景色  
瀧廉太郎：荒城の月  
エンニオ・モリコーネ：Nella Fantasia  
マックス・レーガー：マリアの子守歌  
讃美歌：神のみ子は  
17世紀のフランスの歌：DING DONG ! MERRILY ON HIGH  
讃美歌：きよしこの夜

スタンフォードの曲はクラリネットとピアノ、ドゥメルスマン、ビゼーの曲はフルートとピアノ、フォーレはフルート、クラリネット、ピアノの三重奏、ケ・セラセラ、冬景色、荒城の月はヴォーカルとピアノ、その後はコーラスの演奏であった。

【海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流】 一般対象（原則として有料）

夏季あるいは冬季に、ソルフェージュスクールで学び、現在アメリカで活躍中のヴァイオリニスト・亀井由紀子氏を講師として招き、8月10日（金）に当法人ホールで特別講習会を開いた。6年連続となる特別講習会だが、たいへん好評で、ソルフェージュスクールで育まれたソルフェージュ音楽教育の成果、恩師ヤッシャ・ハイフェッツから得た技術及び音楽に対する姿勢等をお伝えいただける有意義な講習会であった。また多数いらした聴講生からも賞賛の声をいただいた。

② 地域プロジェクト

児童及び高齢者を対象とした地域プロジェクトへ協力（講師派遣等）しているが、昨年度までに続き、豊島区のNPO法人富士見台ひろば主催のクリスマスコンサートへの協力をした。

(3) ソーシャルメディアの活用、資料収集、出版物刊行等広報の充実

ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜、楽器を購入すると共にソルフェージュの普及のため研究成果及び教育内容などの出版を行う作業を継続した。また授業、事業活動及び法人運営資料等についてはホームページに掲載した。ホームページの内容充実と更新を継続し、タイムリーな情報発信を facebook で行った。

① facebook の活用

ホームページとは別に、facebook での情報発信をすることにより、タイムリーで細かなソルフェージュスクールの事業内容を知らしめることができるようになった。

② ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜等の購入

Sheet Music Plus /Weber Trio for Violin, for Viola, for Cello  
Book Depository (ソルフェージュ&ABC 用)  
Sheet Music Plus /Weber Trio スコア

③ 機関誌「ソルフェージュスクール新聞」の発行

年 2 回 (春夏号と秋冬号) 各 800 部発行し一般に無料配布した。

④ 独自に発行したソルフェージュ指導楽譜を教材として使用し、一般に実費配布

シャセバン 1 ￥550- (税込)  
シャセバン 2 ￥600- (税込)  
シャセバン 3 ￥432- (税込)

⑤ 新しい指導教材の開発・研究

他分野の研究グループ等と連携して、ソルフェージュット新版等の指導教材の作成・検討を継続した。

⑤ ソルフェージュ教育の理念を著した冊子の発行 (一般に実費配布)

当財団の設立者たちがソルフェージュ教育の理念について書き残した文書類の整理を昨年度に引き続き行った。

⑥ ホームページの充実

更新間隔の短縮に努め、迅速な情報伝達を強化した。内容を濃くすると共にわかりやすい表現となるよう工夫を重ね、音楽を心の糧にし、音楽で豊かな心を育むことで人間性を高め、日本の音楽文化を進化させていけることを強く訴えた。

役員名簿、定款、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程、各事業報告書及び収支計算書・貸借対照表他並びに各事業計画書及び収支予算書を公開した。

⑦ 他のデータシステムとの連携

NOPODAS（非営利法人データシステム）、文部科学省関係法人名鑑及び音楽教育関連データシステム等に登録をして当財団の周知向上を図った。

## 2. 音楽ホール、練習室の貸与

当財団の所有するホール及びピアノの設置された教室（練習室）を、当財団が使用していない時間に、当財団の事業及び公益目的に合致する者に低廉な対価で貸与した。

とくに、音楽学校受験生の使用費用は一般の 2 割引きとして活用を促した。

\* 随時受付、費用は別途料金表に公開した。

## 3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催 一般対象（無料/有料）

【合奏及び室内楽演奏法】 原則として月 1 回 当法人ホール

室内楽授業を、原則として月 1 回、一般に無料聴講できるように公開し、合奏及び室内楽の演奏法を習得してもらうと同時にソルフェージュ教育の成果を実感してもらった。

【講習会・講演会】

諸般の事情により、今年度は行わなかった。

## 《 管理部門 》

### 1. 法人としての諸会議

定款の規定に基づき、評議員会及び理事会等を開催する。

定時評議員会は平成 30 年 6 月に 1 回、通常理事会は平成 30 年 5 月及び平成 31 年 2 月の 2 回、それぞれ開催した。また、平成 30 年 12 月に第 1 回臨時理事会を開催した。

#### 【平成30年5月16日 決算監査】

開催場所：当財団2階会議室

出席等：監事2名出席

#### 【平成30年5月30日 平成30年度 第1回通常理事会】

開催方法：通常招集

開催場所：当財団2階会議室

決議事項： 1. 平成29年度事業報告及び決算の承認決議  
2. 平成29年度事業報告書等に係る提出書類の承認決議  
3. 評議員会で選任される理事の推薦候補（案）の承認決議  
4. 平成30年度定時評議員会の招集決議

出席等：理事5名、監事2名出席

#### 【平成30年6月21日 平成30年度 定時評議員会】

開催方法：通常招集

開催場所：当財団3階ホール

決議事項： 1. 平成29年度事業報告及び決算並びに平成29年度事業報告書等に係る提出書類の承認決議  
2. 評議員会で任期満了となる理事を選任する承認決議

報告事項： 1. 資産の管理運用状況の報告  
2. 平成30年度事業計画及び収支予算書等の届出の件

出席等：評議員 7 名、監事 1 名出席、理事 4 名同席

#### 【平成30年12月12日 平成30年度 臨時理事会】

開催方法：通常招集

開催場所：当財団2階会議室

決議事項：1. 固定資産の継続・買い替えについての承認決議

出席等：理事6名、監事2名出席

【平成31年2月20日 平成30年度 第2回通常理事会】

開催方法：通常招集

開催場所：当財団2階会議室

決議事項：1. 2019年度事業計画及び収支予算書等の承認決議

報告事項：1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告

出席等：理事6名、監事2名出席

## 2. 公益財団法人の情報公開

現在公開中のものに加え、平成30年4月以降に、平成29年度事業報告書及び計算書類等、平成30年度事業計画書及び収支予算書等をwebサイトで情報公開した。

## 3. 業務執行体制の強化

平成30年6月の評議員会において任期満了に伴い重任された理事5名に新理事1名を加えて全6名の理事とし、当法人の業務執行の更なる充実を図った。

運営委員(理事3名と監事1名)が基本的に毎月1回運営委員会を開き、事業執行について協議し、必要事項について決定した。

また、原則として週一で業務会議を開き、上記運営委員会で決められた内容を確認し、業務執行の進行状況や検討事項について打合せをして業務を執行した。

受付事務方4名のローテーションがほぼ確定し、受付事務業務が強化され事業遂行が順調であった。

## 4. 附属明細書について

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。